

第10回SDフォーラム

テーマ:若手職員の成長・育成

18歳人口の減少等、今日の高等教育をめぐる情勢は大きく変化しています。また、大学には本来の使命である教育と研究だけでなく、広い意味での社会貢献や人材育成等も求められています。

このように先行きが不透明な中で高等教育機関への期待がさらに高まる時代にあつて、大学職員には大学運営に関わるプロフェッショナルとして、時代を見据えた的確な舵取り能力と、環境の変化や社会のニーズを正確に分析し、それを大学における意思決定や社会的使命である教育・研究に反映させる能力が求められているといえます。

10回目を迎える今年度のSDフォーラムは、キーワードとして明日の高等教育を担う「若手」に焦点をあて、メインテーマを「若手職員の成長・育成」としました。若手職員の成長につながる学びをテーマとした基調講演を行うとともに、6つの分科会を設け、「成長」、「育成」それぞれの立場からの先進的な取り組みを行っておられる大学や企業の方々より事例報告をいただき、大学職員の能力向上について様々な視点から検討します。

また、各分科会での検討後には、参加者全員が交流できる機会を設け、このフォーラムで得られた成果を今後の個別大学・短期大学における人事政策や人材育成に活かしていただくことを目指します。

【開催概要】

日 時：2012年10月21日（日）10時～17時30分

会 場：キャンパスプラザ京都

京都市下京区西洞院通塩小路下る（JR京都駅ビル駐車場西側、ビックカメラ前）

対 象：大学職員の人材育成や人事政策に関心のある大学・短期大学の教職員

（内容をご確認いただき、関心のある方であればどなたでもご参加いただけますが一部に分科会において参加対象者を設定させていただきます。ご了承ください。）

定 員：基調講演 180人（先着順）、各分科会 30名（先着順）

申 込 期 間：加盟大学・短期大学の方の先行申込受付 7月31日（火）～8月8日（水）

※先行申込み期間後も9月7日（金）まで受付いたします。

加盟大学・短期大学以外の方の申込受付 8月9日（木）～9月7日（金）

※定員に空きがある場合でも、配付資料ならびに進行準備の都合上、当日の参加申込ならびに分科会の変更は受付できませんのでご了承ください。

申 込 方 法：下記URL、もしくは「公益財団法人 大学コンソーシアム京都」ホームページ

「第10回SDフォーラム」のバナーから、「メールアドレス確認フォーム」にアクセスしメールアドレスを入力してください。ご入力頂いたメールアドレスに「SDフォーラム参加申込フォーム」のURLをお送りしますので、そちらで引き続き入力を行って頂きます。

なお、「参加申込フォーム」のURLをお知らせするメールがお手元に届かない場合は、メールアドレスに誤りがある等の可能性がございます。再度、「メールアドレス確認フォーム」に正しいメールアドレスを入力して下さい。また、申込み手続き完了後の変更は、受付けることが出来ませんので、ご注意ください。お申込み手続き完了後に「申込み完了メール」をお送り致します。翌日になってもお申込み完了メールが届かない場合は、大学コンソーシアム京都までお問い合わせ下さい。

※7月31日(火)～8月8日(水)の期間は、「公益財団法人 大学コンソーシアム京都の加盟大学・短期大学の先行申込期間となっておりますので、この期間は加盟大学・短期大学以外の方は、お申込みできません。あらかじめご了承ください。

URL : <https://event.consortium.or.jp/sd10/>

参加費：加盟大学・短期大学の方 3,000円

加盟大学・短期大学以外の方 5,000円

参加費は、当日の資料費、報告集、webシステム運営費、通信費等の諸準備費に使用します。いかなる理由があっても参加費の返金には応じませんので、悪しからずご了承ください。

なお、参加費の振込み後にやむを得ず参加されなかった方につきましては、後日、「第10回SDフォーラム」の当日の資料等を送付致します。

参加費の払込：申込み手続きが完了した方には、後日、郵送にて払込票（請求書）をお送りしますので、最寄りのコンビニエンスストアで参加費の払込みを行ってください。取扱い可能なコンビニエンスストアは、同封している払込票の裏面を参照してください。

なお、銀行（ゆうちょ銀行・ネットバンク含む）等の金融機関からの振込みはできませんので、ご留意願います。また、申込み手続きと参加費の払込みが完了していない方は参加できませんので、ご注意ください。

振込締切日：2012年9月21日(金) 24時まで

参加証：参加費の払込みが完了した方には、10月上旬に「参加証」としてメールを送信します。

10月10日(水)になっても、参加証（メール）が届かない場合は、大学コンソーシアム京都までお問い合わせください。当日は、送信された参加証（メール）を各参加者がプリントアウトして持参し、受付にてご提示ください。

なお、当日、代理の方が参加される場合は、受付にお申し出ください。

その他：2013年3月に報告集を参加者全員に郵送することを予定しています。

<申込み・問合せ先>

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 高等教育研究推進事業部

SDフォーラム事務局（担当：徳永・大澤）

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都

TEL：(075) 353-9163 FAX：(075) 353-9101 E-mail：sd@consortium.or.jp

URL：http://www.consortium.or.jp/

※「公益財団法人 大学コンソーシアム京都」は、月曜日が休日ですのでご注意ください。

－ プ ロ グ ラ ム －

9時30分～ 受付開始

10時～12時 第1部 基調講演

講演テーマ：「若手職員の成長につながる学びとは」

講師：夏目 達也 氏（名古屋大学 高等教育研究センター 教授）

成長・発達にとって学びは不可欠の条件です。そのことは、職場で働く人々にもあてはまります。職業人生の場を大学に求め、これから大学職員としてのキャリア形成をめざす若手職員にとって、学びはとりわけ重要な意味をもちます。日々仕事に追われる職場での「学び」は成立しにくい面もありますが、職員の力量や働き方が職場の成果に反映することを考えれば、学びは組織のニーズになり得ます。

若手職員の成長につながる学びのあり方について考えます。

12時～13時30分 お昼休み

13時30分～16時 第2部 分科会

分科会 A【参加対象者：若手職員向け】

「主体的なキャリア形成を通じた大学改革へのアプローチ」

報告者：山内 尚子 氏（京都産業大学 教育支援研究開発センター事務室）

大学院進学、学会発表、勉強会の企画運営等により、主体的に学びながら、自身でキャリア形成しようとする職員には、その第一歩を踏み出した何らかの「きっかけ」と、学び続けることのできる「原動力」があるようです。

本分科会では、主にその「きっかけ」に注目し、私が奉職10年目までに経験したこと（学外志向、大学院進学等）や、本学・他大学での若手勉強会立ち上げの経緯等、いくつかの事例を紹介しながら、皆さんとの対話を通じて、明日からその第一歩を踏み出せる「きっかけ」にしたいだけける場にできればと考えています。

※お申込みの際に、在職年数をお知らせ願います（ワークショップ実施運営の参考のため）。

分科会 B【参加対象者：若手から中堅職員の（管理職でない）方向け】

「自主勉強会による大学職員の自律的キャリアデザイン」

報告者：横内 雄介 氏（明治大学 就職キャリア支援部）

若手や中堅の大学職員におけるキャリア開発を考える際に、日々の仕事の中で身に付けていく方法や、大学院等で体系的に学ぶ方法等があるかと思えます。

本分科会では、それらとは少し異なる自主的なアプローチとして、大学横断的な勉強会の運営や参加を通じたキャリア開発について考えます。若手職員を対象とした当方の勉強会（<http://www.greenhorn-network.jp/>）運営の事例を紹介しながら、大学職員の自律的キャリア形成を考察します。

当日は参加型のセッション等も交え、皆様と一緒に考えるインタラクティブな場にしたいと思っております。

※お申込みの際に、在職年数をお知らせ願います（ワークショップ実施運営の参考のため）。

分科会 C【参加対象者：管理職・監督職 等 中堅からベテランの方向け】

「経験学習の促進による育成の取り組み」～立命館大学での取り組み～

報告者：大島 英穂 氏（立命館大学 教学部事務部長）

人は、成長するうえで、7割は仕事経験から学んでいると言われています。立命館大学教学部では、2011年度に経験学習状況アンケートを実施し、その結果をふまえた研修を2012年度から実施しています。

定型業務の比重や勤務年数による経験学習状況の違いや特徴を見ながら、研修や職場マネジメントのあり方など、若手職員の育成課題を経験学習の観点から考えます。

分科会 D【参加対象者：管理職・監督職 等 中堅からベテランの方向け】

「大規模大学の職員研修制度の現状と今後」～龍谷大学での取り組み～

報告者：屋山 新 氏（龍谷大学 総務部長）

龍谷大学の研修制度は、組織の要請に基づき少しずつ形を変え成長してきました。益々多様化・専門化する大学業務に対処するためには、職員個々の能力向上が不可欠です。

とりわけ若年職員向けの研修には、皆さんも苦勞されているのではないかと思います。本学が数年前から取り組んでいる研修カリキュラムについて、入社5年目までのカリキュラムや資格別研修をご紹介します、今後のあり方について考えてみたいと思います。

分科会 E【参加対象者：若手からベテランまで民間企業の取り組みに関心のある方向け】

「人と組織の成長をめざして」～堀場製作所での取り組み～

報告者：野崎 治子 氏（株式会社堀場製作所 管理本部 人事担当副本部長）

社是に「おもしろおかしく」を標榜する堀場製作所は、本社を京都におき、25カ国にグローバル展開している分析・計測の専門メーカーです。「人を育てる仕組み」「人が育つ組織創り」のための当社取組みを報告し、社員の成長と育成、その基盤となる組織風土について参加の皆さまと一緒に考えたいと思います。

分科会 F【参加対象者：若手からベテランまで組織の活性化に関心のある方向け】

「若手・中堅職員と管理職がともに育つ組織をめざして」

報告者：重光 直之 氏（株式会社ジェイフィール 取締役 コンサルタント）

組織活性化コンサルタントの視点から話題提供します。今、民間企業は失ってしまった「つながり」や「育成力」を再生するために、いくつかの取り組みを行っています。

当日は、その典型的な事例をご紹介します。若手・中堅社員と管理職が1対1のピアツーピアになって、半年以上向き合うユニークな取り組みです。そこで起こる本質的な変化を共有した後、育成・成長にとって、大切なものは何かを皆さんと考えていきます。後半は、数名単位の分科会で、皆さんの実態をベースにじっくり話し合っていきます。

16時15分～17時15分 第3部 交流会

2階ホールにて、立食形式の交流会を開催します。